

## TOPIC <

### 会員用HPの活用方法

- 特別区全国連携プロジェクトでは、「会員登録」を行った自治体が利用できる「会員専用ホームページ」(登録・利用料無料)があります。
- 「会員専用ホームページ」は、“掲示板”の形式で、各自治体の皆様と東京23区が書き込みを行うことで、連携・交流に関する情報を交換することができます。

#### <活用事例>

- ▶東京23区等に対し、新たな連携・交流事業を提案したいとき
- ▶東京23区等が実施しているイベントや事業に参加したいとき
- ▶自治体の施策や事業を広く周知したいとき
- ▶自治体のパンフレットを東京23区等で配布したいとき
- ▶自治体の広報誌や広報動画をPRしたいとき など

#### <全国連携HP>



- 現在、390を超える自治体・団体に「会員登録」をしていただいております。会員登録自治体との意見交換や、公式X(旧Twitter)で会員登録自治体の事業を発信・紹介する等の取組を積極的に行っています。
- 東京23区との連携・交流事業の実現に向け、ぜひ「会員登録」についてご検討ください。

## TOPIC <

### ～被災自治体への23区連携対応～

#### 「令和7年台風第15号」 「令和7年8月6日からの大雨」 に係る被災自治体への支援

特別区は、大雨や台風で大きな被害に見舞われた以下の自治体に対して、23区共同で復興支援金を提供しました。

- ・令和7年台風第15号：静岡県
- ・令和7年8月6日からの大雨：熊本県、鹿児島県

#### ～特別区が連携して対応した主な災害支援～

- ・令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号(令和5年6月)
- ・令和5年6月29日からの大雨(令和5年6月)
- ・令和5年7月7日からの大雨(令和5年7月)
- ・令和5年台風第13号(令和5年9月)
- ・令和6年能登半島地震(令和6年1月)
- ・令和6年7月25日からの大雨(令和6年7月)
- ・令和6年9月20日からの大雨(令和6年9月)
- ・令和6年7月25日からの大雨(令和6年7月)
- ・令和6年9月20日からの大雨(令和6年9月)



# 東京23区

TOKYO 23 CITY

## 全国連携NEWS

日本を元気に！  
23区から全国へ  
全国から23区へ



### 特別区 全国連携プロジェクトとは？

東京を含む全国各地域とともに発展・成長し、共存共栄を図ることを目的に、産業、観光、文化、スポーツなど様々な分野で特別区(東京23区)と全国の各地域が連携・交流事業を行う取り組みとして、平成26年9月に特別区長会が立ち上げたプロジェクトです。

vol. 13

発行・編集：特別区長会・公益財団法人特別区協議会  
発行：令和8年3月30日

このNEWSは、東京23区が取り組む「特別区全国連携プロジェクト」を全国の多くの方々に知っていただくためのPR情報紙です。本紙は、次のHPからもご覧いただけます。  
特別区全国連携プロジェクトHP <https://collabo.tokyo-23city.or.jp/>  
特別区長会HP <https://www.tokyo23city-kuchokai.jp/>  
(特別区長会とは、東京23区間の連携を図り、特別区政の円滑な運営と特別区の自治の発展に資するため、昭和22年5月1日に設立された特別区23区長が組織する任意団体です。)

## 特別区全国連携プロジェクトの 今後の方向性について(令和9～12年度)

特別区(東京23区)と全国の自治体との連携により、ともに発展・成長していくことを目指して進めてきた「特別区全国連携プロジェクト」は、平成26年9月に特別区長会が趣意書を公表して取組を開始してから12年目を迎えようとしています。

これまで、本プロジェクトの推進にあたっては、その時々々の社会情勢を踏まえて連携のあり方について方向性を確認しながら、趣意書に込めた志の実現を目指し模索してきました。

この間、個々の自治体との連携に加え、各地の市長会・町村会との連携協定締結や企業との包括連携の取組を進める中で、このプロジェクトが、国の策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「まち・ひと・しごと創生基本方針」へ記載されるなど各方面に認知され、国の地方創生推進交付金を活用した広域連携事業を行う等、様々な工夫を凝らしてきたところです。

おかげさまで、現在は全国1,100を超える自治体との連携・交流が実現するとともに、各地域の魅力を発信するイベント、講演会、自治体担当者の交流イベント等を定期的に開催し、全国から多数の皆様にご参加いただいております。

また、プロジェクトの大きな柱として、地震、風

水害被災地への人的支援を実施するほか、東日本大震災からの復興を願うプロジェクト発足当初から行ってきた「東北絆まつり」に対する協力・支援など、様々な事業を展開しています。

これまで、本プロジェクトは4年を1単位として方向性を定めて実施しており、現在は令和4年12月に策定した方向性に基づき、令和5年度から令和8年度までの計画期間の各種事業を行っています。

この度、特別区長会では次の4年間に向けて、令和9年度から令和12年度までの活動の方向性を決めました。東京23区と全国各自治体がより一層連携を深めていくために、活動を充実させていきます。

今後の方向性ではこの視点から、まず自治体の実務担当者同士が実際に顔を合わせ、それぞれの課題やニーズを共有し、お互い理解を深めながら連携して取り組めるよう、マッチングの機会を創出していきます。

その上で、23区が行う連携事業を創出・活性化させるため、各区の事業経費を含め、事業構築・運営をサポートする仕組みを充実させていきます。

プロジェクトの方向性の概要は次ページのとおりです。今後詳細を決定し、全国の皆さんと共により良いプロジェクトを創り上げていきます。

特別区全国連携プロジェクト  
公式X(旧Twitter)  
@Zenkoku\_Renkei

プロジェクトのイベント情報を  
発信するほか、連携している  
市町村のイベント情報なども  
発信します。

よろしければ、  
フォローを  
お願いします！



特別区全国連携プロジェクト【ホームページ】  
<https://collabo.tokyo-23city.or.jp/>  
最新情報やイベント情報などを随時更新!

パソコン・スマートフォン・タブレット  
からご覧いただけます

全国連携 Q検索



### 登録自治体の皆さまへ

日頃より特別区全国連携プロジェクトの推進にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。特別区全国連携プロジェクトはこれまで390を超える自治体の皆さまに登録をいただいております。会員用HPを効果的にご活用いただくために、担当者や担当部署、アドレス等に変更が生じた場合は登録情報の修正にご協力いただきますようお願いいたします。

特別区全国連携プロジェクトの事業実施にあたっては、特別区長会と公益財団法人特別区協議会が連携して取り組んでいます。

### お問い合わせ

特別区全国連携プロジェクトに関するお問い合わせ  
03-5210-9747

特別区長会事務局 調査第1課 全国連携プロジェクト担当

特別区全国連携プロジェクトの会員登録に関するお問い合わせ  
03-5210-9080

公益財団法人特別区協議会 事業部事業推進課

## 【今後のプロジェクトの方向性】

区分	年度	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)
①全国の自治体と特別区各区が実施する連携・交流事業への支援	NEW	新たな助成金制度(各区と広域連携協定締結地域との連携事業への助成)の運用			
	NEW	各区の意見を踏まえた助成金制度の運用			
②被災自治体への支援	NEW	新たな助成金制度(特別区として行う各区の支援活動への助成)の運用			
		○職員派遣の調整			
③23区が一体となり全国の自治体等と連携する事業の実施		○東北絆まつりへの支援、PRイベント(開催地・23区内)の検討・実施			
		○全国の自治体等との連携事業の検討・実施(全国連携講演会・魅力発信イベント等)、実施結果等のPR			
④全国連携プロジェクトの情報発信・PR		○東京区政会館や外部施設を活用した情報発信(全国連携展示等)			
		○全国連携NEWS・パンフレット・HP等による情報発信の充実強化			

## EVENT 令和7年度魅力発信イベント

開催日：令和7年11月8日(土)～9日(日)

会場：がすてなーに ガスの科学館

内容：【自治体PR】観光パンフレットの配架など

【ステージイベント】ご当地マスコット出演やパフォーマンス、ワークショップなど

【マルシェ】各自治体の特産品を集めた物産展

広域連携協定締結先13地域372自治体の写真を使用したパネル展示や、全国の賛同自治体を含めたパンフレットの配布や物産展、自治体PRステージなどを行い、2日間で延べ1,158名の方にご来場いただきました。



## EVENT 令和7年度特別区全国連携プロジェクト交流イベント

### 港区の全国連携の取組について

令和7年度特別区全国連携プロジェクト交流イベントを令和8年3月12日に東京区政会館において開催し、港区企画経営部企画課全国連携推進担当係長に「港区の全国連携の取組について」と題して、ご講演いただきました。

この交流イベントは特別区長会および公益財団法人特別区協議会が東京23区の所管課長で構成する全国連携プロジェクト連絡会と連携し、各区が実施している自治体間の連携内容、実績等について、本イベントを通して、全国各地域の自治体に向け、情報発信を行うべく開催をいたしました。

今回ご登壇いただいた港区は、平成28年1月に策定した『港区まち・ひと・しごと創生総合戦略』の基本目標の第一に「港区と全国各地の自治体とともに成長・発展し、共存・共栄を図る」と掲げ、互いの地域の発展と住民のより豊かな生活の実現に向け、全国各地域との連携を推進する専管組織を設置し、自治体間のみならず、住民間、産業間など幅広い連携に取り組んでいます。

令和7年4月1日現在においても、港区は342の自治体と連携しており、住民同士の交流や災害時の相互支援など様々な連携を図り、互いの地域の発展と住民のより豊かな生活の実現に向け、全国各地域との連携を推進しています。

当日は連携内容について、「全国連携マルシェ in 芝



浦」や子どもたちや職員の交流事業の実施、商店会との連携による地域のにぎわい創出、ワーケーション事業の促進事業等、具体的に多彩な連携事業により、港区が互いの地域の住民の暮らしをより豊かにすることを目指して、全国連携の取組を進めていることをご紹介します。

また、当日はイベント終了後、ご来場いただいた各自治体の皆様と特別区の職員との情報交換会を実施いたしました。これまでに接点がなかった新たな自治体間の交流機会を創出することができたイベントとなりました。

今後とも更なる特別区全国連携プロジェクトの発展に寄与すべく、自治体間の連携のきっかけとなる場をつくり出すようなイベントに取り組んでまいります。皆様におかれましても、特別区全国連携プロジェクトをどうぞ活用いただければ幸いです。

## EVENT 令和7年度第2回全国連携展示

### 東京で感じる堺 ～大阪府堺市と特別区の多彩な共通点～

展示期間：令和8年1月9日(金)～3月3日(火)

会場：東京区政会館 1階 エントランスホール

展示内容：◆大阪府堺市の紹介や23区との連携実績をパネルにて紹介

◆大阪府堺市の観光スポットをタペストリーにて紹介

◆EXPO 2025大阪・関西万博への堺市の取組をタペストリーにて紹介

令和7年度第2回全国連携展示では、プロジェクト賛同自治体である大阪府堺市と連携し、堺市の紹介や特別区との共通点、連携事業の実績について展示しました。

